

- 950-1030 「標準データベースシステム導入の実際」
柴田 亜希子
(山形県立がん・生活習慣病センター)
- 1030-1040 休憩
- 1040-1120 「標準データベースシステム開発と概要」
片山 博昭 (放射線影響研究所)
- 1120-1200 「特別発言」
質疑応答

第14回地域がん登録全国協議会総会研究会

大会会長：祖父江 友孝

事務局：国立がんセンター

がん予防・検診研究センター
情報研究部

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

Tel: 03-3542-2511 (ext3428) Fax: 03-3547-8584

Mail: JACR2005@cied2.res.ncc.go.jp

保健文化賞の受賞

8月4日夕刻、第一生命から、地域がん登録全国協議会が第57回「保健文化賞」の受賞者に選定されたとの結果が伝えられました。「保健衛生の分野において実際の活動や研究を行い、すぐれた業績をあげた団体」として地域がん登録全国協議会のこれまでの活動が認められたことは非常に喜ばしいことです。これを励みに、日本の地域がん登録事業の発展向上に向けてさらに努力しましょう(大島)

編集後記

今回初めて掲載記事及び執筆者の選定から遣らせていただき、大変勉強になりました。限られた時間の中で、超多忙な先生方が依頼を受けてくださり、全員が期限を忠実に守ってくださいましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。巻頭言の「新しいがん登録への期待と展望」の中で、中谷先生は、がん登録の必要性を踏まえた上で、今後、我々が克服していくべき道を示してくださいましたように思います。研究者と患者すなわち一般国民とのがん登録に対する意識のギャップというご指摘も、真摯に受け止める必要があるかと思えます。がん登録関係者に元気を与えて頂いたと同時に、宿題を頂いたと感じたのは、私だけでしょうか？ みんなで知恵を出し合い、頑張っていきましょう。(M.S.)

「がん医療水準均てん化の推進に関する検討会」報告書で院内がん登録の推進が取り上げられていますが、沖縄県と同様に出張採録への依存度が高い地域で業務に携わる者としては、精度向上を目指してさらに出張採録を広げることは人員や予算の面で困難な中、院内がん登録の普及により自主的届出が増加することが重要であることを日頃より認識しています。9月の地域がん登録全国協議会総会研究会ではシンポジウムのテーマとして「地域がん登録と院内がん登録の連携」が取り上げられており、実のある議論が行われることを期待します(Y.N.)

2005-2006年 関連学会一覧

2005年

- 9月2-3日 地域がん登録全国協議会総会研究会(第14回) 東京都 国立がんセンター
- 9月13-15日 国際がん登録学会(IACR)(第27回) Entebbe, Uganda
- 9月14-16日 日本癌学会(第64回) 札幌市 ロイトン札幌 他4会場
- 9月14-16日 日本公衆衛生学会(第64回) 札幌市 札幌コンベンションセンター

2006年

- 1月23-24日 日本疫学会 学術総会(第16回) 名古屋市 中小企業振興会館

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 大島 明
事務局 〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター内
TEL: 06-6972-1181 (2314), 06-6977-2030 (直) FAX: 06-6977-2030 (直), 06-6978-2821
URL: <http://home.att.ne.jp/grape/jacr/>